

< 質疑応答 >

(質問) 秋田県厚生農業協同組合連合会(以下、厚生連)の概要を、県内における病院配置の観点からご説明下さい。

(回答) 県内に9つの総合病院を運営しております。病床総数は、現在3,930床あります。県内の全ての病院における病床総数の約24%を占めております。秋田県内には県立の総合病院がありませんが、そのような状況の中で、9つの厚生連病院は、県内全ての二次医療圏において、地域医療の中核的な役割を担っております。

(質問) 医療に関わることとなった由縁についてご説明下さい。

(回答) 農民の健康を守るために昭和7年、病院を開設したのが始まりです。

(質問) 病院の建て替え、ないし移築の状況についてお話し下さい。

(回答) 平成になり、7つの病院までが新築・移築され、あと2つ残されております。その2つは、仙北組合総合病院と湖東総合病院ですが、築40年を過ぎており、それらの新築・移築を喫緊の課題として検討しております。例えば、前者については、最終結論ではありませんが、病院所在地である大仙市が市街地再開発事業を駆使して、現在の病院の向い側へ新病院を建てるという市街地プランを進めております。関係機関と調整を図りながら検討しているところです。

(質問) 医師確保対策についてお尋ねします。厚生連自身で工夫している点がありましたら、ご説明下さい。

(回答) 臨床研修医の確保については、6つの病院が基幹型臨床研修病院となっており、46名程の定員です。マッチ数は約半分ですので、秋田県ともタイアップしての指導医や研修医へのセミナー開催、あるいは独自の研修手当て策などで努力しているところです。

(質問) 医師への給与など、経営の指針は、他県の厚生連病院のそれを参考としているのですか。

(回答) はい、そうですが、県内の大手の病院についても参考としております。

